



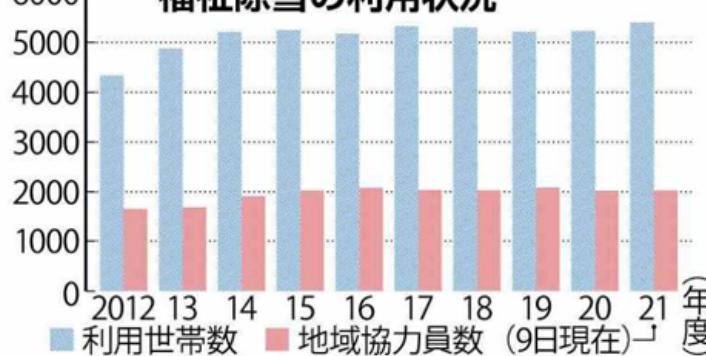
「福祉除雪」高まる需要

札幌圏大雪 高齢者らの利用申請増

「春が近づくと雪が重くなるが、引き受けたからにはきれいにしたい」=10日、札幌市西区



札幌市社会福祉協議会の
福祉除雪の利用状況



林さんは10年前から協力員を務めている。自宅のある西区発寒地区を担当。自宅から300㍍圏内の1人暮らしの高齢者宅3世帯を受け持ち、午前4時から懐中電灯を使い、1時間がかりで作業をする。

市社協の福祉除雪は、玄関前や、自宅前の道路へ向かうスペースなどの除雪を受けており、担当世帯を割り振りで作業をする。

過去5年間の人数はほぼ横ばいだ。今季は大雪で1月以来、計約90件に達した。このため、依頼が多い北区や手稲区を中心に協力員が不足。1月20日に追加募集をしたが確保できたのは数人だった。「1人で14、15世帯を担う人もいる」(市社協)という。

担い手確保が課題となる中、建設会社などの協力団体に活動を補つてもらうケ

ースも増えているという。市社協の高谷亮介地域福祉係長は「協力員は徒歩移動で活動地域は限られるため、どうしても人員が不足する地域が出てきてしまふ」ことだと嘆く。

近郊の市でも同様の状況だ。江別市社協は、高齢者の住宅を対象にした「除雪派遣サービス」を実施。協力員の多くは市シルバーセンターに登録する高齢者だ。約40人おり、同センターの1月の出動件数は652回と、昨年同月の1・6倍となつた。一方で、季は1人の受け持ち件数を増やして対応している。同協力員数は微減傾向で、今季は1人の受け持ち件数を増やして対応している。同企業が定年者を継続雇用する動きが広まっていることなどから「新たな人材確保が困難」という。

石狩市も月別の福祉除雪利用が1月は641世帯と、記録の残る2015年12月以降で最多となつた。協力員は慢性的に不足。昨秋には市の広報誌で募集をかけたが、問い合わせは数件のみだったという。

「今年は雪が多くて、さすがに疲労がたまるね」。

10日前、福祉除雪の依頼者は、うずたかく積もった雪を眺めつつそう嘆いた。

林さんは10年前から協力員を務めている。自宅のある西区発寒地区を担当。自宅から300㍍圏内の1人暮らしの高齢者宅3世帯を受け持ち、午前4時から懐中電灯を使い、1時間がかりで作業をする。

過去5年間の人数はほぼ横ばいだ。今季は大雪で1月以来、計約90件に達した。このため、依頼が多い北区や手稲区を中心に協力員が不足。1月20日に追加募集をしたが確保できたのは数人だった。「1人で14、15世帯を担う人もいる」(市社協)とい

う」と嘆く。

近郊の市でも同様の状況だ。江別市社協は、高齢者の住宅を対象にした「除雪派遣サービス」を実施。協力員の多くは市シルバーセンターに登録する高齢者だ。約40人おり、同セ

作業の担い手確保課題 1人で14、15世帯担当も

2022年2月11日 (金) 朝刊 札幌市内版 15ページ



年 組 名前 _____

道新で
ワークシート

①福祉除雪はなんのために行うものですか。

②福祉除雪の協力員不足が課題となっていて、1人当たりの受け持ち世帯数を増やすしかない地域もあります。どうすれば、少しでも協力員を増やせると思いますか。